

富士山 噴火時 避難ルート マップ

観光客・登山者の皆様へ

このマップは、富士山の突発的な噴火に際して、観光客・登山者の方々の噴火時の避難行動や支援の目安となるよう作成したものです。

「既存路マップ」には、原則として、避難時に徒歩での避難が可能な道を表示するとともに、現在地や避難方向を把握するため、地図上に接続ポイントを表示してあります。

「富士山噴火時避難パターン」には、過去に発生した噴火の典型的な10パターンで予想される火山現象の影響範囲を踏まえ、緊急的な避難を含めた避難方向を表示してあります。

【平成28年6月作成】

〈このマップのお問い合わせ先〉

山梨県防災局防災危機管理課


山梨県甲府市丸の内1-6-1
電話:055(223)1432


静岡県危機管理部危機情報課

静岡県静岡市葵区追手町9-6
電話:054-221-3366


図の見方と記号の意味

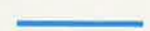
この既存路マップには、徒歩での避難が可能な道や、谷地形や窪地、避難方向の目安となる接続ポイントを表示しました。なお、富士山には本マップに表示されていない小さな徒歩道などもありますのでご注意ください。


 富士スバルライン (SB)
富士スバルライン上のポイントと数字は、五合目駐車場からのキロポストを表しています。
南富士エバーグリーンライン


 ふじあざみライン (FA)
富士山スカイライン (FS)


登山ルート (破線は下山ルート)
登山ルートは四色に色分けされています。


 吉田ルート (Y)


 富士宮ルート (F)

 御殿場ルート (G)

 須走ルート (S)


 徒歩道
徒歩で通行することのできる道路

 林道
主に林業経営のため使用される道路。一般車は通行できない場合があります。


 国道・県道・主な市町村道


 高速道路


 県境


 接続ポイント
登山ルートに示したポイントは現地に設置されている標識の管理番号と一致しています。それ以外のポイントは、現地にポイントを示す標識はありません。

1.0k 接続ポイント間の距離 (kはキロメートルの意味)

 ゲート
林道や徒歩道などに設置されているゲート

 駐車場

 料金所

 想定火口範囲
富士山噴火時に火口ができる可能性のある範囲

対象期間と避難手段について

山梨県側の開山期間である「7月1日～9月10日」及び静岡県側の開山期間である「7月10日～9月10日」に噴火した際に、徒歩で避難することを想定し、作成してあります。

既存路マップ



登山の際には

- 1 最新の火山活動をチェックしましょう。
- 2 登山計画書(登山届)を提出しましょう。
- 3 緊急速報メール^{*}等を受信できるよう携帯電話の電源を入れておきましょう。
- 4 ヘルメットなどの安全装備を着用・持参して登山しましょう。



^{*}緊急速報メール：気象庁から配信される特別警報や緊急地震速報などを、該当する地域に無料で一斉配信する、携帯電話事業者のサービス。
(お手持ちの携帯電話が受信設定されていることを確認してください。)

火山情報はここから (火山登山者向けの情報提供ページ)



気象庁

全国オンライン登山届コンパス はここから



コンパス

火山活動に関する情報

噴火警戒レベル

- 噴火警戒レベルとは、噴火時などに危険な範囲や必要な防災対応を、レベル1から5段階に区分したものです。
- 各レベルには、火山の周辺住人、観光客、登山者等のとるべき防災行動が一目で分かるキーワードを設定しています(レベル5は「避難」、レベル4は「避難準備」、レベル3は「入山規制」、レベル2は「火口周辺規制」、レベル1は「活火山であることに留意」)。
- 対象となる火山が噴火警戒レベルのどの段階にあるかは、噴火警報等でお伝えします。
- 登山する前には、噴火警戒レベルを確認しておきましょう。

| 予報警報 | 対象範囲 | レベル(キーワード) |
|--------|------------------|--------------------|
| 噴火警報 | 居住地域 | 5 (避難) |
| | 及びそれより火口側 | 4 (避難準備) |
| 火口周辺警報 | 火口から 居住地域近くまで | 3 (入山規制) |
| | 火口周辺 | 2 (火口周辺規制) |
| 噴火予報 | 火口内等 | 1 (活火山であることに留意) |

臨時の解説情報

「火山の状況に関する解説情報(臨時)」

臨時の解説情報は、噴火警戒レベルの引上げの基準に至らない火山活動の変化を観測した場合であっても、まず、その事実を地元の関係者や一般の人々に認識してもらうために、気象庁が「臨時」に発表する「火山の状況に関する解説情報」のことであります。

登山をする前には、その火山に臨時の解説情報が発表されているかを確認しておきましょう。

噴火速報

噴火速報は、登山者や住民に、火山が噴火したことを端的にいち早く伝えることにより、身を守る行動を取っていただくために気象庁から発表されます。

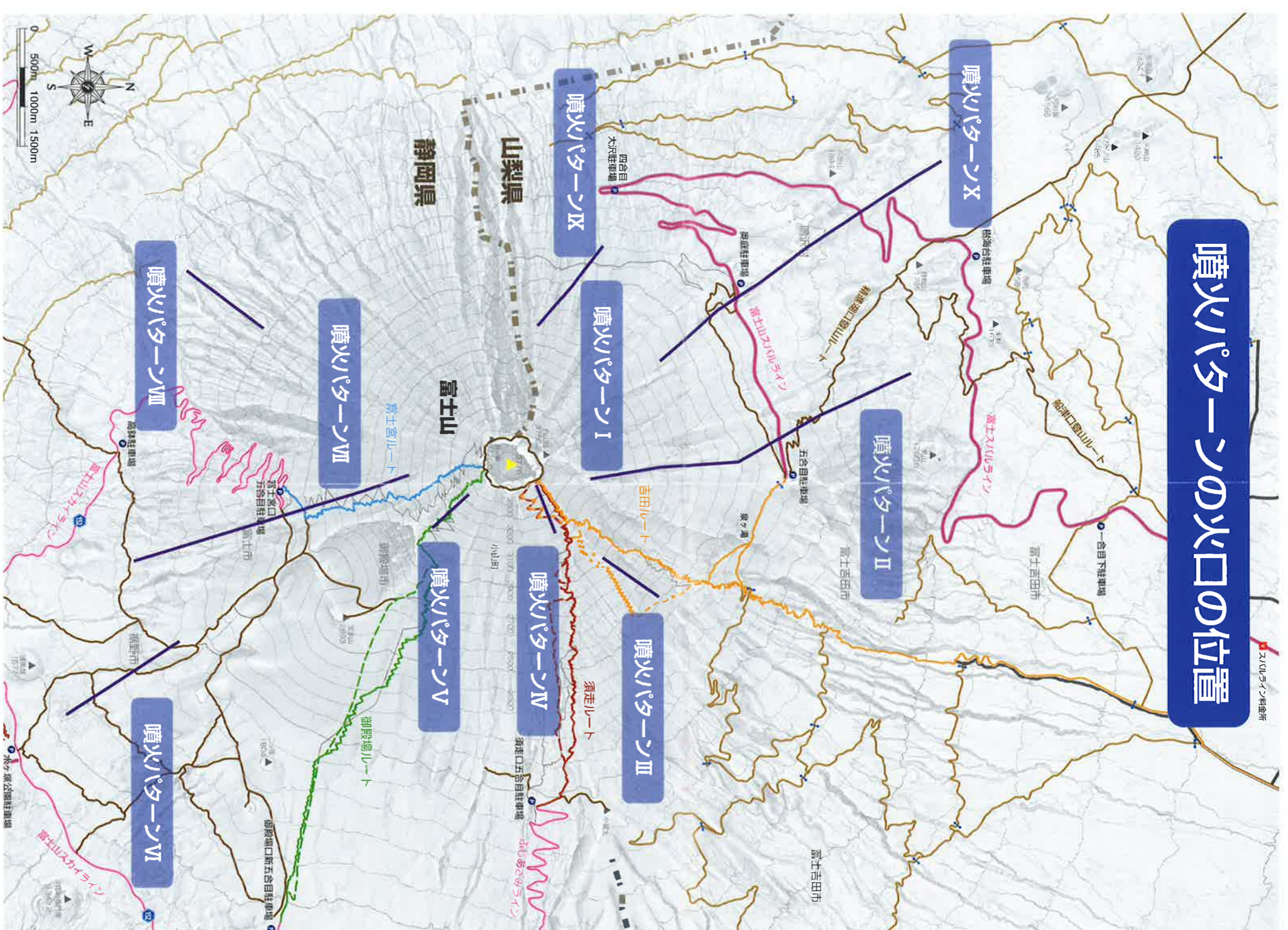
噴火速報が発表された時は、直ちに身の安全を図る必要があります。

噴火速報は、登山中でも、ラジオや携帯端末などから知ることができます。

^{*}噴火速報は気象庁が常時観測している各火山を対象に発表されますが、普段から噴火している火山において普段と同じ規模の噴火が発生した場合や、噴火の規模が小さく噴火が発生した事実をすぐに確認できない場合には発表されません。



F そのまま下山(青)
 F-P 富士山スカイラインを下山(緊急時：徒歩道で避難)
 G そのまま下山(緑)、富士山スカイラインを御殿場方面に避難
 S そのまま下山(赤)、ふじあざみラインを避難(降灰時：近くの建物等



噴火パターンの火口の位置

**南東斜面からの噴火
(避難パターンVI)**

想定される現象
 ・火口列から南東に流下する溶岩流によって富士山スカイラインが分断



Y 吉田ルート(黄)または須走ルート(赤)を下山、五合目駐車場
 S そのまま下山(赤)、ふじあざみラインを避難
 SB3 台目から北西(精進口登山道)方向に避難



北東斜面からの噴火 (避難パターンIII)

想定される現象
 ・火口列から北東側に流下する溶岩流によって林道滝沢線が分断

Y 吉田ルート(黄)または須走ルート(赤)を下山するが、場合に
 S そのまま下山(赤)、ふじあざみラインを避難
 SB 北(スバルライン料金所)方向に避難

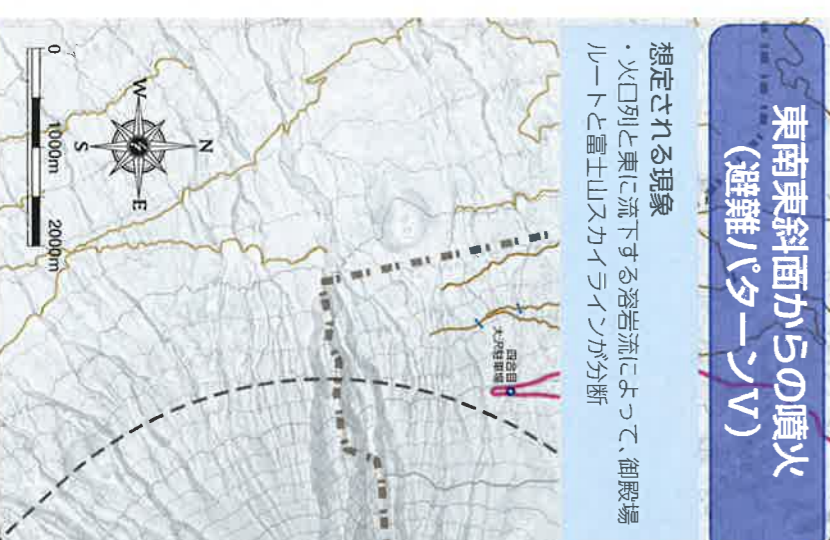
東斜面からの噴火 (避難パターンIV)

想定される現象
 ・火口列と東に流下する溶岩流により、須走ルートとふじあざみラインが分断

OH 富士宮ルート(青)又は御殿場ルート(緑)を下山
 F そのまま下山(青)
 F-P 富士山スカイラインで富士宮方面へ避難(緊急時：徒歩道車場へ行き南富士エバナーラインで避難)
 G そのまま下山(緑)、富士山スカイラインを御殿場方向に避

**東南東斜面からの噴火
(避難パターンV)**

想定される現象
 ・火口列と東に流下する溶岩流によって、御殿場ルートと富士山スカイラインが分断



OH 須走ルート(赤)または吉田ルート(黄)を下山